



# 海外農業研修

令和2年度ガイドブック



チャレンジの  
舞台へ  
踏み出そう!



公益社団法人 国際農業者交流協会  
The Japan Agricultural Exchange Council

# 農業研修生 海外派遣事業の沿革

## ○ 社団法人 国際農友会

**1952年**  
(昭和27年)

■アメリカ派遣事業  
開始

**1953年**  
(昭和28年)

■デンマーク派遣  
事業開始

■ブラジル派遣事  
業開始(1964年  
度まで派遣)

**1957年**  
(昭和32年)

■スイス派遣事業  
開始

■ドイツ派遣事業  
開始

■カナダ派遣事業  
開始(1990年  
度まで派遣)

**1956年**  
(昭和31年)

■カリフォルニア農業研修  
生派遣制度(3年制)開始  
(1966年度まで派遣)

**1964年**(昭和39年)

■オランダ派遣事業開始

■ニュージーランド派遣事業  
開始(1990年度まで派遣)

## ○ 社団法人 農業研修生派米協会

**1965年**(昭和40年)

■カリフォルニア農業研修生派遣制度に代わり  
米国本土派遣2年制農業研修制度が創設

**1966年**(昭和41年)

■米国派遣2年制制度開始

**1972年**  
(昭和47年)

■アメリカ ハワイ州  
派遣事業開始

**1965年**  
(昭和40年)

■日米貿易・経済合同閣僚会議開催  
(カリフォルニア農業研修生派遣  
制度の廃止と2年制農業研修制度  
の創設について協議)

## ○ 社団法人 農業労務者派米協議会

## ● 公益社団法人 国際農業者交流協会 (JAEC)

**1988**年(昭和63年)

■社団法人国際農友会と社団法人農業研修生派米協会がそれぞれの実施事業を充実強化するために解散統合し、新たに社団法人国際農業者交流協会が設立され、それまで両団体で行われていた派遣事業を継続実施

**2006**年  
(平成18年)

■米国派遣2年制を1年半のプログラムに改良

**2012**年  
(平成24年)

■内閣府から公益社団法人の認可を受け名称を公益社団法人 国際農業者交流協会と改める

**2018**年  
(平成30年)

■オーストラリア派遣事業開始(2019年に第1期研修生が渡航)

### 海外農業研修 令和2年度ガイドブック

## CONTENTS

- |                             |     |                        |     |
|-----------------------------|-----|------------------------|-----|
| 01 ご挨拶                      | P3  | 08 あなたへのおすすめは？         | P15 |
| 02 踏み出そう！海外農業研修             | P4  | 09 SNS を使ったの勉強         | P16 |
| 03 申し込み方法                   | P5  | 10 農業研修生海外派遣事業<br>実施要領 | P17 |
| 04 アメリカでの農業研修               | P8  | 11 帰国後について             | P26 |
| 05 オーストラリアでの農業研修            | P9  | 12 公的資金を活用しよう          | P28 |
| 06 ヨーロッパ・その他の国々での<br>農業研修   | P10 | 13 協賛紹介                | P29 |
| 07 アプレントイスシップとアグトレ<br>マイレージ | P13 | 14 海外農業研修お問い合わせ先       | P30 |

## ご挨拶

公益社団法人国際農業者交流協会は、英語名を The Japan Agricultural Exchange Council（略称 JAEC）と表記し、海外において先進農業技術や経営などを学ぶプログラムを提供する専門機関として昭和 63 年に設立されました。前身団体からの累積では、これまでに 14,800 名を超える日本青年が海を渡り、言葉の壁や文化、生活環境の違いを乗り越えて先進農業を学ぶことができました。海外で研鑽を重ねた方々は、培った知識と経験を生かし、我が国における中核農業者として、更には農業関連諸企業や国際協力分野において活躍されています。

本会では、上記に加え ASEAN 諸国や欧州諸国からの農業研修生の受入事業、国際化に対応するための課題について勉強を行う研究会やセミナーの実施など、多岐にわたる事業を行っています。

これらの事業は、欧米豪及びアジア諸国の政府機関、関係団体との長年に亘る協力と信頼関係によって実現されているもので、その質と研修効果の高さは国内外から高く評価されています。

さらに近年加速するグローバル化により、我が国と諸外国との関係は新たな局面を迎え、農業を取り巻く環境においても目まぐるしく変化し、後継者不足、休耕地の増加、食料自給率の低下など、我が国農業の抱える課題は様々に挙げられます。このような時代において農業青年が海外農業研修を通じ、技術力、経営力、国際感覚などのグローバルスタンダードを身につけることが求められています。

日本を離れ、世界の第一線で活躍する農業者の下で、自国だけでなく諸外国の動きを捉えながら農業経営を学ぶこと、さらに海外から客観的に日本を見ることこそが、今まさに将来の我が国農業を担う若者の先見ある判断と言えるのではないのでしょうか。

また、異国での生活は、現地の文化や習慣を理解し、外国語を習得するだけでなく、世界の中の日本がどのような役割を果たし、どう思われているのかを直接確かめる良い機会となるでしょう。さらに日本代表として外国の人々と交流を持つことで、郷土愛、家族への感謝、そして、自分を見つめ直すことにも繋がり、優れた人間性を醸成するものと確信します。

人生の分岐点と成り得るまたとない機会です。夢に向かい挑戦してください。

公益社団法人 国際農業者交流協会  
会長 野中 和雄



## 踏み出そう！海外農業研修

JAECの海外農業研修は、外国の農家で時間をかけて技術と知識を習得する実践型プログラムです。実際にビジネスをしている農家での研修は、大学や農業大学校などの教育施設での学びとは異なり、時として厳しく、緊張感を伴った学びとなります。その点だけを見ると、思わず尻込みしてしまう人もいるかもしれません。しかし、今世界で求められている人材は、どのような人たちが考えたことがありますか？

農業も技術革新が進むとともに、グローバル社会において必要とされる国際感覚・コミュニケーション能力、IoT知識・技術など一昔前の農業とは異なる観点が必要となっています。一方で、伝統と地域性を重んじ、脈々と受け継がれ郷土に息づく思想、環境問題やアニマルウェルフェアに言及する法律や理念も大切です。こうした様々な要素を理解し、そして、新たな要素をも積極的に取り入れていこうとする青年こそ、現代の優れた農業者です。

農業のすべてを一度に理解することはできませんが、実践を通じて農業を学ぶことで、農業の今を切り取り、自分の人生に取り入れていくことができるのです。このような実務研修は、英語で On the Job Training、または Learning by Doing と言われ、世界中の国々で実施されています。

今こそ、勇気を出して海外へ飛び出していきましょう。そのための準備をしっかりとしていれば、恐れることはありません。チャレンジする舞台に踏み出しましょう！

### 海外農業研修への参加者(2017年～2019年度の3年間 193名の内訳)

農家出身 / 非農家出身

農家  
38%

非農家  
62%

年齢層

～19歳  
2%

20～24歳  
88%

25歳～  
10%

男女比

男性  
66%

女性  
34%

専攻別割合

野菜  
48%

果樹  
11%

花卉  
12%

畜産  
12%

申込時の職業

農業大学校生  
30%

大学生・短大生(農学系)  
46%  
※1

農業研修生  
7%  
※2

農業従事者  
6%

会社員  
5%

※1 内、休学生は5割程度

※2 内、休学生は3割程度

海外農業研修参加者の7割近くが、大学・大学校・短大卒業時に参加しています。

# 申し込み方法

アメリカ・オーストラリア 応募から渡航まで

## 応募から渡航までのスケジュール

4月1日～  
8月28日

応募受付開始



プレエントリー  
(申込書類入手)

推薦応募の場合  
一般応募の場合



6月～7月頃

各推薦団体  
申込締切

提出  
申込書類  
締切

9月

選考(東京)



10月～11月

合格通知送付



国内事前講習



3月

渡航



アグトレ

検索

### ①『プレエントリー』をする

- 本会のホームページにアクセスしてください。インターネット上で「アグトレ」または「JAEC」と検索するとアクセスできます。
- 本会のホームページの応募ページからプレエントリーボタンをクリックし、申込フォームを開いてください。
- 必要事項を入力し送信してください。
- 平日の3～4日以内を目処にご登録いただいた電話番号に連絡させていただきます。
- 連絡がとれた後、ご登録いただいたEメールアドレスに申込書類をお送りします。

### プレエントリー期間

**募集：2020年4月1日(水)～2020年8月24日(月)**

※健康診断に時間がかかったり、推薦応募の締め切りに間に合わなくなる恐れがあるので、プレエントリーは余裕をもって行ってください。

### ②応募する

応募方法は「推薦応募」または「一般応募」があります。  
プレエントリー後に送られてくる申込書式に必要事項を記入していただき、次の手順で送付をしてください。



## ★推薦応募の場合

出身または就農予定の都道府県知事、本会が認める団体長から推薦をしてもらい応募をする方法です。応募書類の提出先は、都道府県の担当課又は推薦団体窓口となります（P.30 参照）。推薦を得るにあたって、書類審査、面接、試験等が実施される場合があります。

### <海外農業研修推薦資格を持つ認定団体>

- ・北里大学獣医学部
- ・酪農学園大学
- ・帯広畜産大学
- ・八ヶ岳中央農業実践大学校
- ・東京国際農業者協会
- ・大阪府国際農業交流協会
- ・東京農業大学
- ・拓殖大学北海道短期大学
- ・日本農業経営大学校
- ・公益財団法人北海道農業公社
- ・京都府国際農業者交流協会
- ・福岡県国際農業者交流協会

### **推薦応募は各都道府県、推薦団体ごとに応募締切日を設けています。**

都道府県及び推薦団体により応募締切日が異なります。例年 6 月～7 月に締め切ることがありますので、詳細についてはお早めに県庁担当課及び団体窓口（P.30 参照）にお問い合わせください。

## ★一般応募の場合

海外農業研修参加希望者が直接本会に応募する方法です。  
申込書類を本会に送付してください。

### **申込締切（本会必着日）：2020 年 8 月 28 日（金）**

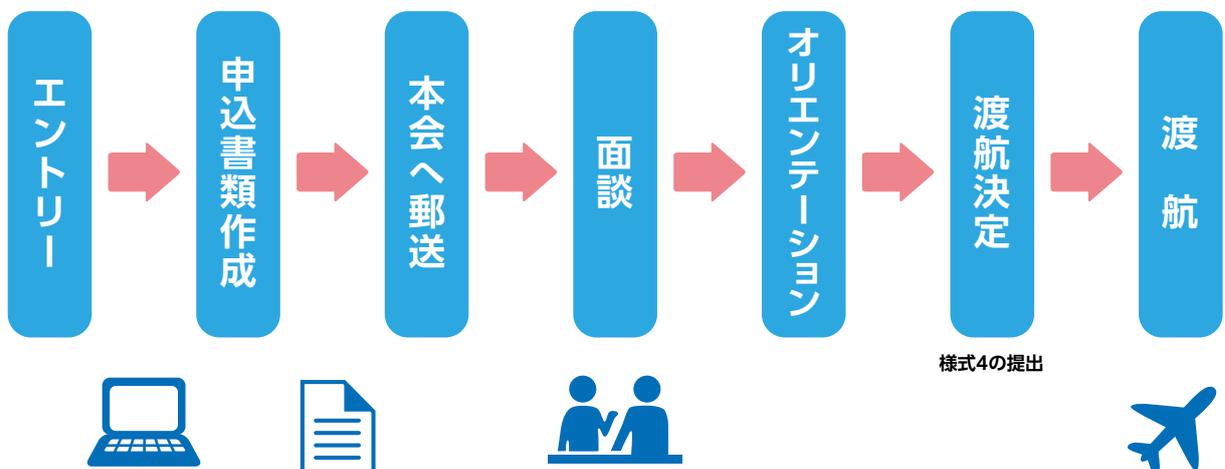
※選考から渡航については P.19 ～をご参照ください。



## ヨーロッパ・その他の国々 応募から渡航まで

### 応募から渡航までのスケジュール

4月1日～8月28日



## ①『エントリー』をする

- 本会のホームページにアクセスしてください。インターネット上で「アグトレ」または「JAEC」と検索するとアクセスできます。
- 本会のホームページの応募ページからヨーロッパコース及びその他の国々へのエントリーボタンをクリックし、申込フォームを開いてください。
- 必要事項を入力し送信してください。
- 平日の3～4日以内を目処にご登録いただいた電話番号へ連絡させていただきます。
- 連絡がとれた後、ご登録いただいたEメールアドレスにヨーロッパコース及びその他の国々への申込書類を送ります。

### エントリー期間

**募集：2020年4月1日(水)～2020年8月24日(月)**

※健康診断に時間がかかり締め切りに間に合わなくなる恐れがあるので、エントリーは余裕をもって行ってください。

## ②応募する

ヨーロッパコース及びその他の国々への申込書類を本会に送付してください。

**申込締切(本会必着日)：2020年8月28日(金)**

## ③面談をする

応募者と電話またはメールにて面談日を取り決め、東京都内の本会事務所にて面談を行ない応募者の意向を確認し、各国受入機関と協議を行なった上で、応募者の渡航の可否を決定します。

## ④オリエンテーション

3泊4日の予定で東京都内を予定しています。主な内容は渡航前に研修を理解するためのプログラムです。

## ⑤渡航決定

受入可能と決定した応募者は「海外農業研修手配依頼書」(様式4)を本会に提出します。

## ⑥待機期間(渡航の準備)

海外農業研修手配依頼書提出から出発までの期間は、語学学習や農業実習など各自で渡航に向けた準備を行うとともに渡航手続きを行なっていく待機期間となります。

## ⑦渡航

本会、現地受入機関、応募者で相談し決定した日に渡航します。





## 理論と実践のサンドイッチ教育 アメリカコースの1年半

大学での語学と農業学習、農場での実務研修とを組み合わせ、理論と実践を以って農業を学ぶ1年半

### ① 渡航 (3月下旬)

～研修開始～

東京からアメリカへ。  
アメリカ最初の地となるワシントン州中部のモーゼスレイクに到着。



### ② 基礎学習 約2か月 (3月下旬～5月下旬)

【大学での寮生活】～農場での実習前にアメリカでの生活に慣れる2か月～

ワシントン州モーゼスレイクにあるビッグ・バンド・コミュニティ・カレッジにて、英語、スペイン語の学習、農業授業、トラクターなどの農業機械操作、農業視察を行う。



ビッグ・バンド・コミュニティ・カレッジのキャンパス。語学の基礎と米国農業の一般知識を身に付け、アメリカでの生活に慣れていく。



日本人農業研修生に合わせたベテラン講師による英語レッスン。



アメリカ北西部最大の都市シアトル。基礎学習中に訪問する機会もある。

### ③ 農場実習 約13か月 (5月下旬～翌年7月上旬)

【農場が用意する宿舍での生活】  
～アメリカ農業を実務研修を通して学ぶ13か月～

研修の根幹となる農場での実習。専攻業種ごとに農場での実習となる。農場の宿舍に滞在し、実習手当の中から現地での生活をやりくりするのもこの研修の醍醐味。



研修農場は千差万別!



サンフランシスコのファーマーズ・マーケットにて、野菜を販売する研修生。お客さんと直接触れ合う。



肉牛専攻の研修生の中には、カウボーイに挑戦する研修生も。

### ④ 専門学習 約2か月 (7月上旬～8月下旬)

【ホームステイ】～アメリカ農業研修の成果を生かし帰国後を見据える2か月～

農学部を有する州立大学（カリフォルニア大学デービス校を予定）にて、業種ごとの専門知識を学ぶ。

また、帰国後の農業ビジネスプランを作成し英語で発表を行う。アメリカ農業研修で得た知識・経験を総括する。



アメリカ流プレゼンテーションを学ぶ機会も。



カリフォルニア州の先進農家を訪問。フィールドトリップで訪ねる生産者が先生となる。



デービス周辺は有機農業も盛ん。農場実習で経験したことをより深く学ぶ。

### ⑤ 最終研修旅行 約10日 (8月下旬～9月中旬)

～自分でアレンジする研修旅行～

自らが旅行プランを考えてアメリカを学ぶ計画を立てる研修旅行期間。自由の中にも責任があり、これまで学んだ力、語学力が試される。



### ⑥ 帰国 (9月中旬)

～アメリカでの経験を生かして～

シアトルに集合し修了式を行い、帰国する。郷里に戻り、農業人材として活躍する。

～海外農業研修生 帰国報告会～

帰国後、東京での報告会を行った後に解散となる。





## 南半球での農業研修 1年

オーストラリア北東部クィーンズランド州 (QLD 州) 政府と連携し、QLD 州での農業研修ができるようになりました。QLD 州は、オーストラリアにおいて 2 番目の面積を有し、日本の国土の 5 倍の広さを持つ、農業と観光が有名な州です。この地域の特産品は、夏野菜 (カボチャやパプリカ、トマトなど) やトロピカルフルーツ等があります。輸出を主としてきた QLD 州農業の技術革新や生産から輸出の手法を学ぶことができます。また、南半球での農業の生産サイクルが季節的に日本とは逆

クィーンズランド州(QLD州)での農業研修がスタートしています!



である利点を生かした輸出戦略、そして多様な気候帯によって多くの種類の果物や野菜を生産する QLD 州での研修は、国際競争力ある農業者を目指す方へのヒントがたくさんあるはずです。

業種…露地野菜+マンゴー、その他現地の状況により研修可能な業種

## 研修スケジュール

渡航  
(3月下旬)

ワーキングホリデービザで研修します。日本と QLD 州の時差は 1 時間。東京～ブリスベン QLD 州に到着。

基礎学習 約 1 か月  
(3月下旬～4月下旬)

クィーンズランド州ボーエン市にあるテイフ・クィーンズランド(職業訓練校)にて、農場実習中に必要となる英語を中心に語学学習を行いながら、生活及び研修に関するオリエンテーションが行われます。

※語学研修中、農場実習中を通じて、ボーエン市内にある寮に滞在します。

農場実習 約 10 か月  
(4月下旬～翌年2月下旬)

研修生それぞれが、QLD 州内の農場で実習を行います。

最終研修旅行 約 1 週間  
(3月上旬)

オーストラリアを学ぶ研修生の自由計画による研修旅行です。

帰国  
(3月下旬)

※ワーキングホリデービザは、それぞれの国に対して 1 度のみ取得が可能です。



## ヨーロッパ各国

欧州の農業の幅広さ、伝統と歴史は、他の地域と明確な違いがあります。これまでも長年にわたり、デンマーク、ドイツ、スイス、オランダでの長期農業研修プログラムを実施し、たくさんの研修生たちが様々な分野で学んできました。この4か国の研修事業に加えて、より広域に、様々な方の要望に応えられるようプログラムを改良しています。

### ヨーロッパコースの代表的な研修スケジュール ※1年間の場合

渡航 (3月下旬)	語学研修 (3月中旬～4月上旬)	農場実習 約11か月間 (4月上旬～翌年3月上旬)	最終研修旅行 約1週間 (3月上旬)	帰国 (3月上旬)
--------------	---------------------	------------------------------	-----------------------	--------------

## デンマーク

面積は九州ほどの小国ながら、デンマークはヨーロッパ屈指の畜産大国です。酪農では、放牧酪農を主として、ホルスタイン、ジャージーを育成する酪農家が多く、乳固形分量は世界でもトップであり、チーズに適した高品質の牛乳を生産しています。また、養豚産業は多くの農場が繁殖と肥育の一貫経営で、豚肉の輸出額は世界第3位を誇ります。デンマークでの農業研修は大規模かつ家畜福祉に配慮した畜産を学ぶことができます。

### ①受入機関

Travel To Farm

### ②専攻業種

業種	研修期間	備考
酪農	3か月～1年間	大規模酪農
養豚	3か月～1年	近代的な養豚経営
緑化木	3か月～1年間	樹木等の生産管理
肉牛	3か月～6か月間	繁殖・肥育

### ③研修期間

3か月～1年 ※研修開始時期は通常3月

### ④その他

- 言語：デンマーク語 ※研修中は英語を使います
- 通貨：デンマーククローネ (DKK) ※1クローネ=およそ17円
- 入国のビザ：インターンまたはワーキングホリデー

## ドイツ

ヨーロッパを代表する農業大国のドイツ。ジャガイモや穀物のイメージが強いですが、鉢物、果樹、酪農、養豚など、実に多彩な農業を行っており、どの分野も国民性や食文化が関連しています。農業形態においても大規模農業に限らず、多品目の野菜を扱う農場や畜産と野菜や穀物の栽培を合わせた複合経営を行う農場など、日本では珍しい取り組みを行う興味深い農場が多くある国です。また、酪農および庭園の施工管理などを行う造園業の研修が可能で、使用される資材やドイツ人らしい感性に基づく庭づくり、西洋庭園のスタイル、多種多様な樹木、宿根草を使いながら空間を造っていく過程を学ぶチャンスがあります。

### ①受入機関

Deutscher Bauernverband e. V. (DBV)

### ②専攻業種

業種	研修期間	備考
酪農	1年間 ※短い期間も可	大規模酪農
養豚	3か月～6か月間	繁殖・肥育
野菜	3か月～1年間	有機野菜の場合は3か月まで
果樹	3か月～6か月間	主に収穫期の受入となる
花卉	3か月～6か月間	鉢物・切花・植木
造園	1年間 ※短い期間も可	管理作業が中心

### ③研修期間

3か月～1年 ※研修開始時期は通常3月

### ④その他

- 言語：ドイツ語 ※研修中は英語またはドイツ語を使います
- 通貨：ユーロ（EUR） ※1ユーロ=およそ125円
- 入国のビザ：研修生またはワーキングホリデー

## スイス

スイスは観光国としても有名であるため、景観保持のために農業が重要な役割を担っています。農業の主な経営スタイルは畜産（酪農、肉牛、養豚、養鶏）と畑作、野菜や果樹を組み合わせた複合農業です。これにより有機物が農場内で循環する環境保全型農業を可能にしている、環境に配慮した農業経営を行うことができます。また、家族経営の農場が一般的であるため、スイスでの農業研修は家族の一員として生活しながら農業や文化を学んでいきます。

### ①受入機関

Agrimpuls

### ②専攻業種

業種	研修期間	備考
複合(酪農)	1年間	耕畜連携の家族経営(環境保全型農業)
複合(養豚)	1年間	耕畜連携の家族経営(環境保全型農業)
野菜	1年間	慣行野菜(統合農法)、有機野菜

### ③研修期間

1年間 ※研修開始時期は通常3月

### ④その他

- 言語：ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロマンシュ語 ※研修中はドイツ語を使います
- 通貨：スイスフラン（CHF） ※1スイスフラン=およそ110円
- 入国のビザ：研修生

## オランダ

オランダは面積としては小国ながらも、農産物輸出額で世界のトップ3に入る農業大国です。施設栽培の野菜や花卉の農場をほぼ会社化し、近代的設備とシステム化された管理方法と経営を行うことで、数ヘクタールの巨大な温室での栽培を可能にしています。さらに、農業を使わず、天敵昆虫や装置を使った防除（IPM）を積極的に導入し、効率的に生産しています。その一方で露地栽培においても、アスパラガス、葉物野菜、イチゴなどを大規模に生産する農場や、有機農業を行う農場も多くみられます。また、平坦な土地を生かした放牧中心の効率的な酪農も有名で、ロボット搾乳を導入する農場やチーズ加工を行う農場も多くあるため、オランダでは多様な近代農業を学ぶことができます。

### ①受入機関

Stichting Uitwisseling (SUSP)

### ②専攻業種

業種	研修期間	備考
酪農	1年間 ※短い期間も可	ロボット搾乳、チーズ加工
複合	1年間 ※短い期間も可	耕畜連携農業(有機農業)
野菜	3か月～1年間	施設栽培、露地栽培
切花	3か月～1年間	施設園芸
鉢物	3か月～1年間	施設園芸
緑化木	3か月～1年間	植木等
球根	3か月～6か月	チューリップ等

### ③研修期間

3か月～1年 ※研修開始時期は通常4月

### ④その他

- 言語：オランダ語 ※研修中は英語を使います
- 通貨：ユーロ（EUR） ※1ユーロ=およそ125円
- 入国のビザ：研修生



## その他の国々

本会は、多様な希望に応えられるよう、世界中のパートナー組織と協力しながら研修事業を展開しています。現在まで定期的に研修生を送り出していた既述の国々の他にも、フランス、アイルランド、カナダなどで皆さんの参加を待っている受入農場があります。

### ①受入機関

本会のパートナー組織または団体

### ②専攻業種

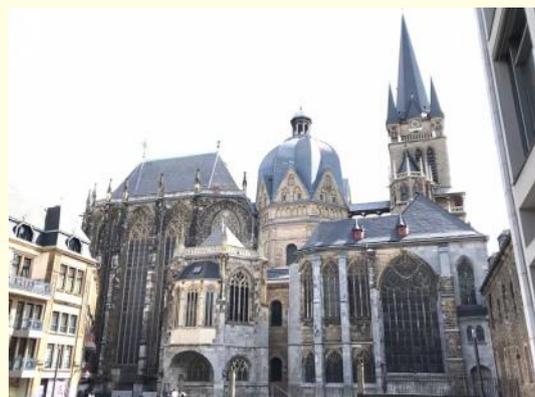
応相談

### ③研修期間

3か月～1年間

### ④その他

●入国のビザ：研修生、ワーキングホリデー他



## アプレンティスシップ(国内実習)

海外農業研修の経験を  
生かした経営者のもとで  
農業を学んでみよう!

### コースの特徴

アプレンティスシップとは英語で見習いを意味する言葉です。このコースは、主に国際化対応を意識した海外農業研修経験者のもとで農業実習を行い、農業技術、経営管理、販売技術等を習得することを目的としています。

海外農業研修参加を目指す方で農業経験が少ない方へは、アプレンティスシップをお勧めしています。

### ① 募集期間

**2020年4月1日(水)**

**～2021年3月31日(水) ※周年**

### ② 応募方法

① インターネットで本会ホームページへアクセスし、アプレンティスシップ(国内実習)のページを開いてください。

② ページ下部にあるエントリーボタンをクリックすると申込フォームが開くので、必要事項を入力し送信してください。

③ 平日の概ね3～4日以内を目処にご登録いただいた電話番号へ担当から一度連絡をします。その後、ご登録いただいたメールアドレスに申込書式が届きます。届いた書式に必要事項を記入の上、申し込みに必要な書類をそろえて、本会に郵送します。

※ 開始希望時期の概ね3か月前までには申込書類を提出する必要があります。

④ 書類が届き次第、担当から再度連絡し面接日を決めます。本会事務所(東京都内)で一度面接を行い、国内実習の受け入れが可能であるかを判断させていただきます。

(遠方にお住まいの方は、ご相談ください。)

⑤ 研修について打ち合わせをし、希望に近い農家が手配でき次第、受入農家と研修生の両方で実習開始日を設定し、実習を開始します。

### ③ 研修に係る費用

**申込金 40,000円 + 研修農場までの交通費**

※ 実習中の待遇については、アグトレマイレージ制度を利用することになります。

※ さらに詳しくは要領P.25をご確認ください。

### アグトレマイレージ制度とは?

「国内実習をしつつ、海外農業研修に向けて研修費を積み立てたい!」そんな声にこたえるのが、アグトレマイレージ制度です。研修希望者を応援する国際農友会(研修生OB・OGの全国組織)により運営されています。3か月以上のまとまった期間、農業実習ができる方であれば、どなたでもアグトレマイレージ制度をご利用いただけます。

アグトレマイレージ受入農家での1日の実習を1アグトレマイレージポイント(1amp)とし、実習した期間のポイントの合計に応じた奨学金やいろいろな特典が受けられます。また、受入農家から一定額の小遣いの支給が受けられ、住居や食費が保障されるため、海外農業研修に向けて研修費を貯めることが可能です。

### アグトレマイレージ制度で得られる特典・待遇

- 研修奨学金…1amp=1,500円
- 特別奨学金…実習期間に応じて特典が得られる

75amp以上で 15,000円



150amp以上で 30,000円



250amp以上で 50,000円

(奨学金は海外農業研修へ渡航される際に、国際農友会から付与されます。)

- 研修小遣い…40,000円/月(毎月受入農家より支給)
- 75amp以上で研修生サポート資金の優先貸与
- 75amp以上で海外農業研修の選考会費用の免除。た

だし、免除は1回のみとし、選考会当日までに75amp以上であることを証明する書類の提出が必要。

- 住居の提供
- 食事の提供（自炊の場合は別途食費の支給）

※それぞれの特典はアグトレマイレージポイントの最終獲得日から1年以内に海外農業研修に参加される場合のみ有効です。研修奨学金や特別奨学金は海外農業研修に参加しなかった場合、受け取ることはできません。



東京都の野菜農園で研修。農園主はスイスでの農業研修に参加。農場家族のありがたみを肌身を感じている。

## ～アプレントイスシップを経て海外農業研修へ～

**伊藤英二郎さん** 平成28年度アメリカコース参加 野菜専攻  
2017年3月～2018年10月研修

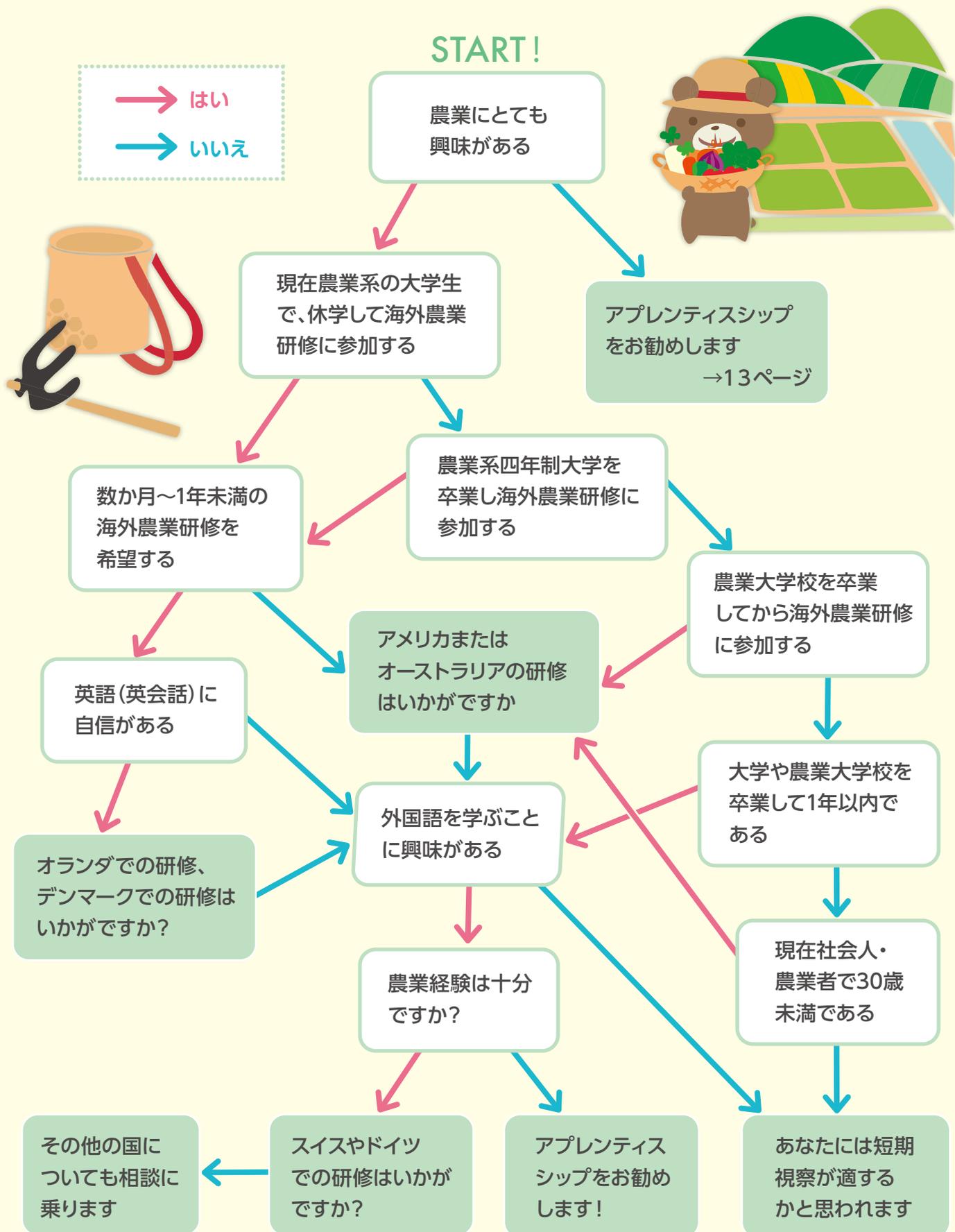


私は小さい頃から農業が好きで祖父と一緒に田畑へ行くことが日常的にあり、将来的にも好きな仕事をしたいという考えがありました。高校卒業後は地元企業に就職をしましたが、自分の好きな農業を生涯の仕事にしたいという気持ちが強くなり、専業農家になろうと決意しました。農業をするにあたって地元の農業の仕方だけではなく、他の地域の農業を見ることで多くの知識や考え方を身につけたいと思っていた時に、この海外農業研修に出会いました。以前からアメリカの農業に興味があり、農場実習中は実習手当をいただきながらアメリカの農業や文化を学ぶことを知り、この研修へ参加することを決めました。研修へ参加するにあたり、私は実家から出たことがなく、農業経験も農繁期の機械作業のみで、このままアメリカへ行ったら大変だと思い、国内研修で自分を鍛えよう決めました。

国内研修では、滋賀県にある米・麦・大豆・ジャガイモ・小松菜・露地野菜の複合農家で10か月間、毎日みっちりと身体を張って日本の農業について学ばせていただきました。アメリカでは大規模ジャガイモ農場で研修しました。日本の農業とは全く違う農業で最初は戸惑うことが多くて辛い時もありました。そんな時励みになったのが国内研修での経験です。国内研修でお世話になった農家さんに言われた「最後までやりきれ」の言葉を思い出しながら毎日の農場実習に励みました。メキシカンとの作業も国内研修で鍛えられたのであまり大差もなく一緒に仕事ことができました。また、日本とアメリカのジャガイモの栽培管理方法を比較することができ、将来に役立つことが学べました。アメリカでの研修農場は経営規模もとても大きく、従業員はやりがいを感じて仕事をしているところを肌で感じ、日本の農業にも必要なことだと感じました。この国際農業者交流協会の研修で、日本とアメリカの農業を経験することができ、将来展望を考えることができました。帰国後の今は、実家の農業とは別に農場を作るために日々奮闘しています。



## あなたにぴったりのコースは？



## SNSを使っでの勉強



友だちになって  
最新情報をゲット!

@znl1671g

海外農業研修のことを質問すると  
答えが返ってきます。  
そして、最新情報もどんどんお知  
らせしますので、是非LINEで友  
だちになってください。



# 農業研修生海外派遣事業 実施要領

実施団体：公益社団法人 国際農業者交流協会

事業名称：農業研修生海外派遣事業・アプレンティスシップ

## 農業研修生海外派遣事業

### 事業の目的

公益社団法人 国際農業者交流協会(以下、「協会」という)は、海外農業先進諸国における農業実習や学習を通じて、優れた農業技術、経営管理、販売技術等を修得することで、国際社会に精通した我が国農業・農村を担う人材を育成することを目的に、アメリカ合衆国及びオーストラリア連邦クィーンズランド州、さらに、ヨーロッパ4か国を始めとする世界各国での海外農業研修を実施する。

## 1. 研修コース、研修期間、受入機関及び募集人数

### アメリカ・オーストラリア

研修コース	研修期間	渡航時期	受入機関	募集人数
アメリカ	約18か月	2021年3月下旬	ビッグ・バンド・コミュニティ大学財団	50名
オーストラリア	約12か月	2021年3月下旬	クィーンズランド州 ボーエン地区 生産者協会	20名

### ヨーロッパ・その他の国々

研修コース	研修期間	渡航時期	受入機関	募集人数	
ヨーロッパ	デンマーク	3か月～12か月	任意の期日	デンマーク農民連盟	若干名
	ドイツ	3か月～12か月	任意の期日	ドイツ農民連盟	若干名
	スイス	約12か月	2021年3月	スイス農民連盟	6名
	オランダ	3か月～12か月	任意の期日	オランダ農業交流協会	10名
*その他の国々	3か月～12か月	任意の期日	各国受入機関	若干名	

\* カナダ、イギリス、アイルランド、フランス等

※研修期間は現地の事情により変更になることがある。

## 2. 応募者の資格

(1) 日本国籍があること。

※日本国籍の他に国籍を持つ者についてはあらかじめ相談すること。

(2) 心身共に健全であること。なお、現在治療中の怪我や病気(精神疾患を含む)がある者は、医師の診断書を提出し、それを以って判断する。

(3) 明確な研修目的を持っていること。

(4) 外国語を学ぶ強い意欲を持っていること。

(5) 海外農業研修で専攻する業種について、十分な農業経験

があること。または、渡航までに十分な農業経験を積むことができること(概ね2か月以上)。

(6) 渡航までに普通自動車運転免許を持っていること。AT限定の者は渡航までに解除しておくこと。11月中旬までに取得していることが望ましい。

(7) 犯罪歴がないこと。

(8) その他、次に掲げる各研修コースの資格条件に該当する者であること。

研修コース	年齢 (生年月日が以下の期間)	資格条件	
アメリカ	1991年4月2日～ 2002年4月1日	高等学校卒業、または同等以上の学力を有し、農業の基礎知識や経験がある者。	
オーストラリア	1991年4月2日～ 2002年4月1日	高等学校卒業、または同等以上の学力を有し、農業の基礎知識や経験があり、ワーキングホリデービザの発給条件を満たす者。	
ヨーロッパ	デンマーク	19歳～29歳	*高度農業教育を2年以上受けており、専攻業種に関する科目を履修している在学中の学生で、基礎英会話力を備え、IELTSのテストでband score 3.0以上である者。
	ドイツ	19歳～30歳	高度農業教育を2年以上受けており、専攻業種に関する科目を履修している在学中の学生。或いは、高度農業教育を2年以上受け、卒業後、18か月以内の者。かつ、ドイツ語の基礎知識を有する者。
	スイス	19歳～29歳	高度農業教育を2年以上受けており、専攻業種に関する科目を履修し、かつ、ドイツ語の基礎知識を有する者。なお、高度農業教育機関卒業後、1年以上農業外の産業に従事した者は不可。
	オランダ	19歳～26歳	学士号以上の学位が取得可能な大学の農業教育を2年以上受けており、専攻業種に関する科目を履修している者で、研修期間中に休学できる者。或いは、専攻業種に関する学士号以上の学位を取得し、当該学位を取得した大学卒業後2年を経過していない者。かつ、英語でコミュニケーションがとれる者。
その他の国々	概ね18歳～30歳 要確認	高等学校卒業、または同等以上の学力を有し、農業の基礎知識や経験があり、研修先国で日常会話が可能で語学力を有する者。研修先国のワーキングホリデービザ発給等の要件を満たす者。 詳細は要相談。	

\* 高度農業教育とは、農業大学校、農業専科大学、大学農学部或いはそれに準ずる学部、専門学校等の教育機関における履修のこと。

※ 資格条件は研修先国の事情により変更される場合がある。上記資格条件に当てはまらなくても他の条件が整えば参加できることがあるので、その場合は個別に問い合わせること。

※ 査証の取得等に関わる手続きがあるため、渡航のために必要な期間、有効なパスポートを持っていること。

### 3. 募集

募集情報は、協会ホームページ (www.jaec.org)、協会の発行する募集資料、及び SNS (Facebook・LINE) により告知される。

#### アメリカ・オーストラリア

募集期間は 2020 年 4 月 1 日(水)～ 8 月 31 日(月)とし、申込締切日は 2020 年 8 月 31 日 (月) で、申込書類の協会必着日とする。なお、プレエントリー (インターネットでの仮申込) 期間は 2020 年 4 月 1 日 (水) ～ 8 月 24 日 (月) とする。

#### ヨーロッパ・その他の国々

募集は 2020 年 4 月 1 日 (月) ～ 8 月 31 日 (月) とする。  
なお、受入機関との協議により受け入れが可能な場合はその限りではない。

### 4. 応募方法

#### アメリカ・オーストラリア

プレエントリー後、都道府県知事または協会会長が認める団体の長を推薦者とし、推薦を受ける推薦応募と、推薦を受けずに個人が協会に直接応募する一般応募とする。

##### (1) 推薦方法

推薦者はこの事業の目的に適合する者を選抜し、(2) の申込書類に所定の推薦書を添えて協会会長に提出するものとする。

##### (2) 申込書類

申込書類は、協会が定めた申込書 (様式 1) と健康診断書 (様式 2) とし、推薦団体が推薦書 (様式 3) を作成する。

### (3) 分担金

分担金は 250,000 円とし、研修費の一部に充てる。分担金は、研修生の推薦者の助成によって賄うものとし、助成が得られない場合は、研修生の自己負担とする。

## ヨーロッパ・その他の国々

- (1) エントリー（インターネットでの申し込み）を行い、その後手許に届く申込書（様式 1）と健康診断（様式 2）を協会に送付する（応募）。協会は、電話またはメールにて申込者と面談日時を取り決める。
- (2) 協会は、応募者と面談を行い、希望する研修先国の受入機関と協議し、受け入れの可否が確認でき次第、応募者に結果を伝える。
- (3) 研修の受け入れが可能となった応募者は、海外農業研修手配依頼書（様式 4）を協会に提出し、協会は研修の手配を開始する。
- (4) 協会は、応募者の出身都道府県及び OB・OG 組織に対し、応募者の研修の手続きが完了した段階で通知する。

## 5. 選考（アメリカ・オーストラリアのみ）

2020 年 9 月 13 日（日）及び 9 月 14 日（月）に東京都内で行う。合否は書面にて通知され、2020 年 10 月 2 日（金）までに郵送する。

### 【選考方法】

- 推薦応募者
  - 書類審査及び面接審査（初歩的な英会話力と基礎体力の確認を含む）を行う。
- 一般応募者
  - 書類審査、面接審査に加え、筆記試験（英語、農業一般、作文）を行う。
  - 但し、日本農業技術検定協会が実施する日本農業技術検定 3 級以上を取得している者は、農業一般の試験を免除する。また、TOEFL (iBT 32 点以上)、または、TOEIC (490 点以上)、IELTS band score 4.0 以上或いは、英検準 2 級以上を取得している者は英語の筆記試験を免除する。この場合、申し込みの際にそれぞれの証書等の写し（コピー）を添付すること。
- 選考費
  - 推薦応募者 8,000 円      一般応募者 13,000 円
  - ※選考費は選考会場にて現金で支払う。

## 6. 国内における研修

### 講習および待機期間（アメリカ・オーストラリア）

#### (1) 実施時期及び場所

海外農業研修に対する諸準備のため、研修コースごとに次に掲げる国内講習を実施する。選考合格者は、以下の講習に必ず参加しなければならない。

研修コース	事前講習	出発時講習
アメリカ	【東日本】 2020年11月上旬開始予定(14日間) 会場は茨城県内を予定	2021年3月下旬の3日間を予定 会場は東京都内を予定
	【西日本】 2020年11月上旬開始予定(14日間) 会場は大分県内を予定	
オーストラリア	2020年11月上旬開始予定(14日間) 会場は茨城県内を予定	2021年3月下旬の3日間を予定 会場は東京都内を予定

※講習会場までの往復交通費は研修生の負担とする。

#### (2) 内容

講習の内容は、概ね次のとおりとする。

##### ア. 事前講習

- ・プログラムの理解、参加に当たっての心構え等
- ・渡航手続、現地研修農場配属手続、その他の書類作成
- ・現地事情、現地研修事情等についての説明
- ・日本農業実情把握、農業経営シミュレーション等
- ・現地語学の学習
- ・体力トレーニング
- ・農業実習

##### イ. 出発時講習

- ・出発時の各種手続き
- ・壮行会

### (3) 待機期間

事前講習から出発時講習までの期間は、語学学習や農業実習など各自で渡航に向けた準備を行う待機期間となる。本会は研修生の必要に応じて農業実習先の手配、語学の指導、研修先国査証や入国手続き等を行う。

※アメリカコースでは、東京の米国大使館にて出発時講習の3～4週間ほど前（2月下旬あるいは3月上旬に1日のみ）に米国入国査証取得のために義務付けられている面接を受ける。

## オリエンテーション（ヨーロッパ・その他の国々）

海外農業研修の諸準備のため、渡航前にオリエンテーションを実施する。

研修コース	オリエンテーション
ヨーロッパ・その他の国々	2020年10月下旬（3泊4日）会場は東京都内を予定

## 7. 海外における研修

各研修コースにおける研修計画は、次のとおりとする。なお、学習のために利用する大学の都合、或いは、農場実習を行う研修農場の都合（季節的繁忙）によって、それぞれの実施時期が若干ずれることがある。

### (1) アメリカ

#### ア. 研修計画

研修区分(期間)	実施時期	研修内容
基礎学習 (約2か月)	2021年3月下旬 ～5月下旬	ビッグ・バンド・コミュニティ大学(ワシントン州)における英語、スペイン語の語学学習、米国社会・農業概要の学習及び視察研修等(大学の寮に滞在)
農場実習 (約13か月)	2021年 5月下旬 ～2022年7月上旬	専攻業種に応じた西海岸、中西部、東部の諸州及びハワイ州の農場における実習
専門学習 (約2か月)	2022年7月上旬 ～8月下旬	農業経営、農産物市場・流通等の学習、視察研修(大学周辺の一般家庭にホームステイ)農学部を有する州立大学で実施予定
最終研修旅行・ 修了式(約2週間)	2022年8月下旬 ～ 9月中旬	研修生各自の自由計画による研修旅行及び修了式

#### イ. 専攻業種

上記研修計画のうち農場実習は、次の業種により配属する。

- ・酪農
- ・養豚
- ・野菜（種苗、有機栽培を含む）
- ・造園
- ・肉牛（繁殖、肥育）
- ・養鶏
- ・花卉（葉物、枝物、鉢花、花壇苗、観葉植物を含む）
- ・果樹（落葉果樹、コーヒー、柑橘）

その他現地の状況により研修可能な業種

#### ウ. 実習手当

研修生は農場実習中、研修農場より一定額の手当を受け取る。その一部は、現地研修費に充てられる。

### (2) オーストラリア

#### ア. 研修計画

研修区分(期間)	実施時期	研修内容
基礎学習 (約1か月)	2021年3月下旬 ～4月下旬	オーストラリアでの農業研修に必要な語学学習及びオーストラリア農業の基礎を学ぶ
農場実習 (約10か月)	2021年4月下旬 ～2022年3月上旬	専攻業種に応じ、クイーンズランド州ボーエン地域の農場で実習を行う
最終研修旅行 (約1週間)	2022年3月上旬 ～3月中旬	研修生各自の自由計画による研修旅行

#### イ. 業種

上記研修計画のうち農場実習は、次の業種により配属する。

・露地野菜 + マンゴー

繁閑により、異なる業種での農場移動がある。

その他現地の状況により研修可能な業種

#### ウ. 実習手当

研修生は農場実習中、研修農場より一定額の手当を受け取る。その一部は、現地研修費に充てられる。

### (3) ヨーロッパ・その他の国々

各研修コースにおける研修プランは、応募者の希望により異なるが、一例として、1年間の研修の場合の内容を記す。

#### ア. 研修計画（研修期間1年の場合の一例）

研修区分(期間)	実施時期	研修内容
現地到着時研修 (約3週間)	2021年3月中旬 ※任意で可能な日	各研修先国における現地オリエンテーション及び語学学習
農場実習 (約11か月)	2021年4月上旬 ～2022年3月上旬	専攻業種に応じた農場における実習
セミナー(数回)	2021年6月 ～2022年1月	各国ごとに、農業視察、講義、他国研修生との交流会等を通して現地農業の理解を深め、農業青年同士の相互理解をはかる
夏季自主研修 旅行(約1週間)	2021年7月～9月	研修生各自の自由計画による研修旅行
最終研修旅行 (約1週間)	2022年3月上旬	研修生各自の自由計画による研修旅行

#### イ. 専攻業種

研修先国別の実習可能な専攻業種は次のとおりとし、研修先国の受入機関が選定する研修農場での農場実習を行う。

研修コース	期間	専攻業種
デンマーク	1年	酪農、養豚、緑化木
	3か月～6か月	肉牛、酪農、養豚、緑化木
ドイツ	1年	酪農、造園
	3か月～6か月	養豚、花卉、果樹(ワイン含む)、酪農、造園
	3か月～1年	野菜、酪農、造園
スイス	1年	複合(耕畜連携経営)、野菜
オランダ	1年	酪農(チーズ加工を含む)、複合(耕畜連携経営)
	3か月～1年	酪農(チーズ加工を含む)、複合(耕畜連携経営)、野菜(露地・施設)、花卉(切花、鉢物、緑化木、球根)
その他の国々	3か月～1年	要問い合わせ

#### ウ. 実習手当

研修生は農場実習中、研修農場より一定額の手当を受け取る。

## 8. 研修経費

本研修参加に際し、必要となる各費用については以下のとおりである。

### (1) 研修参加申込金

金額：**300,000円**

納付期限：アメリカ・オーストラリア・・・2020年10月20日(火)

ヨーロッパ・その他の国々・・・研修依頼書の提出から2週間以内

※研修参加申込金は、特別な理由がない限り返金しない

※本会に何の連絡もなく期限までに研修参加申込金を納入しないとき、アメリカ・オーストラリアの場合、合格の取り消し、渡航の中止とする。ヨーロッパ・その他の国々の場合は、受入の取り消しとする。

## (2) 研修費

研修費の金額と用途、納入期限は下表に定めたとおりとする。

### アメリカ・オーストラリア

研修コース	金額	用途	納入期限
アメリカ	980,000円	国内講習参加費 渡航前経費(査証申請等) 渡航時経費(往復航空運賃等) 帰国時研修経費 帰国者活動費 団体保険料 事務管理費 ※海外旅行保険料および現地到着時小遣いは含まない	2021年 1月29日(金)
オーストラリア	1,180,000円 (500,000円を現地で受け取る研修手当から支払い、差額680,000円を渡航前に納付することも可能)	国内講習参加費 渡航時経費(往復航空運賃等) 現地研修費(基礎学習等) ※現地研修中の宿泊及び食費は含まない 帰国時研修経費 帰国者活動費 団体保険料 事務管理費 ※ワーキングホリデービザ申請料、海外旅行保険料は含まない	

※アメリカは上記に含まれない費用(現地で学習する大学の費用・現地での移動費等)が約1,600,000円かかり(渡航人数等により変動する)その費用は農場実習期間中に受け取る実習手当から積立を行い支払う。

※農場配属直後の小遣いとして、3~5万円程度を目安に現地通貨で持参することになる。

※協会にて指定する海外旅行保険に加入する(アメリカコースは約27万円、オーストラリアコースは約18万円)。

### ヨーロッパ・その他の国々

研修費の金額(目安)と用途、納入期限は下表に定めたとおりとする。

研修費に含むもの	研修費に含まないもの(その他経費)
現地研修経費 20万円~50万円 (ビザや滞在許可・語学学習・セミナー、サポート経費、一部移動交通費・現地受入機関への支払い)	海外旅行保険料(月14,000円ほど~) ※12か月で26万円 ※国によっては現地で健康保険に加入するので、任意となります
事務管理費 36万円	往復航空券(20万円ほど~)
帰国者活動費 2万円	渡航時の小遣い 5万円
団体保険 5万円	渡航・帰郷時交通費 2万円
その他経費 1万円	
合計 ~94万円	合計 ~53万円

※金額は目安であり、研修期間及び内容に応じて異なる

### 研修経費の納付先及び納付期限

公益社団法人 国際農業者交流協会 みずほ銀行蒲田支店 普通預金 3151510

協会が指示する期日に従い渡航前に納入

(3) 海外旅行保険料（金額の目安は P.28 の表中に記載）

アメリカ・オーストラリア

研修中の怪我や病気の治療、また、死亡、後遺障害、その他損害賠償等の補償のために、協会が提示する一定の補償額の海外旅行保険に必ず加入する。

ヨーロッパ・その他の国々

研修中の怪我や病気の治療、また、死亡、後遺障害、その他損害賠償等の補償のために、協会が提示する一定の補償額の海外旅行保険に必ず加入することとなるが、研修先国の健康保険等の適用が受けられる場合、海外旅行保険には任意で加入することとする。

## 9. 辞退、延期、受入取消

以下のとおり定める。

	アメリカ・オーストラリア	ヨーロッパその他の国々
辞退	合格後、研修を辞退する場合、協会に辞退届を提出する。	海外農業研修手配依頼書（様式4）提出後、研修を辞退する場合、協会に辞退届を提出する。
延期	合格後、研修生の健康状態、海外農業研修に対する準備不足（語学力、作業能力等）が認められる場合、渡航を次年度以降に延期することがある。その際には、速やかに所定の延期手続きを行う。	研修生の健康状態、海外農業研修に対する準備不足（語学力、作業能力等）が認められる場合、渡航時期を延期することがある。
取消	<p><b>【合格取消】</b> 合格後、渡航までの間に、研修生として不適格と認められる事実が判明した場合、協会は合格を取り消すことがある。</p> <p>(例) ア.定められた経費の支払いを無断で定められた期限までに納入しない場合。 イ.延期に伴い発生する精算を、無断で定められた期限までに行わない場合。 ウ.渡航に向けて行うべきビザ等書類作成を怠った場合。</p>	<p><b>【受入取消】</b> 渡航までの間に、研修生として不適格と認められる事実が判明した場合、協会は研修受入を取り止めることがある。</p> <p>(例) ア.定められた経費の支払いを無断で定められた期限までに納入しない場合。 イ.延期に伴い発生する精算を、無断で定められた期限までに行わない場合 ウ.渡航に向けて行うべきビザ等書類作成を怠った場合。</p>
費用の精算	<p>ア.上記、辞退、延期、取消の場合、それまでの手続きにかかった経費を精算する。ただし、研修参加申込金は原則返金しない。</p> <p>イ.研修費納入後は、それまでの手続きにかかった経費を精算し、残金を返金する。なお、渡航日の1週間前から渡航日までに研修を辞退した場合、研修費の全額を返金しない。</p> <p>ウ.延期の場合、研修参加申込金は翌年度分に充当される。 不測の事態による渡航の延期・中止の際には、妥当な範囲で経費の精算を行う。</p>	



## 10. 各種支援制度の利用

### (1) 農業人材力強化総合支援事業

国並びに都道府県、市町村等の支援事業である農業次世代人材投資事業（旧青年就農給付金事業）、農の雇用事業、及び海外留学・研修助成金制度等を活用できる場合がある。なお、協会が助成制度利用者に対し、書類作成等特別な便宜を行う場合、そのことに要する事務手数料を別途申し受けることとする。

### (2) 奨学金制度

協会の海外農業研修に参加し一定の資格条件を満たす者は、協会の奨学金制度を利用することができる。

#### 《バイエル スカラシップ》

バイエルの出資による、海外農業研修生を支援するための奨学金制度。所定の書類を提出し、選考委員会で選出された者は、奨学金の給付を受けることができる。

給付額：20万円/人 給付人数：各年5名以内

#### 《国際農業交流事業推進基金 研修生サポート資金》

研修参加者の資金不足をサポートする目的で、1人当たり50万円まで無利子で利用することができる。アグトレマイレージ制度を利用し特定の条件を満たした者には優先的に貸与する。

#### 《アグトレマイレージ制度》

海外農業研修に参加するために、農業経験を積みながら、研修経費を貯めることができる制度。協会が指定する農家において実習を行うと、期間に応じて各種特典が受けられる。

## 11. 現地における指導

研修先国での研修を円滑に実施するため、協会と現地受入機関が共に研修生の指導にあたる。

## 12. 中途帰国

研修生の研修期間満了前の帰国は次の場合とし、協会は中途帰国した研修生について速やかに推薦者に通知する。また、中途帰国によって生じた経費は、原則として研修生の負担とする。

(1) 協会及び現地受入機関が、研修生の研修継続が不可能或いは不相当と認めた場合。

(2) 研修生が何らかの理由により中途帰国を申し出て、協会及び現地受入機関がこれを認めた場合。

## 13. 研修修了

所定の研修を終えて帰国し、協会への報告を完了した時点で研修修了とする。

## 14. 研修報告書の提出

研修生は協会に対し別に定める報告書を提出する。

## 15. 帰国後の活動

研修生は、研修生OB・OG組織の一員として地域の農業振興のため、協会及び同組織が実施する諸事業に参加し、目的達成に協力する。

## 16. その他

不測の事態が発生した場合、事業内容または経費の変更が生ずることがある。



# アプレントゥィスシップ

## 事業の目的

英語で見習いを意味する Apprenticeship から名付けられたもので、国際化対応を意識した国内先進農家での農業実習を通じて、優れた農業技術、経営管理、販売技術等の修得を目指し農業実習を行う。

## 1. 募集

### (1) 募集期間

周年

### (2) 募集人数

年間 15 名程度

## 2. 応募資格と申込

### (1) 応募資格条件

- ・概ね 18 歳から 30 歳までの日本国籍を持つ男女
- ・農業に興味を持ち積極的に農作業に打ち込み、研修受入農家及び協会の指導を真摯に受け止め、農作業力、経営力の向上に努める者
- ・アプレントゥィスシップを終了した後、海外農業研修に参加する意欲のある者

### (2) 申込方法及び審査

- ・協会ホームページにおいてインターネット申込を行い、その後、メール添付で送られてくる申込用紙（申込書、健康診断書）に必要事項を記入し協会に郵送する。
- ・協会において書類審査並びに電話或いは直接の面談等により研修引き受けの可否を決定する。

## 3. プログラム内容

### (1) 実習の実施方法

アグトレマイレージ制度を利用した実習を行う。

#### 《アグトレマイレージ制度》

海外農業研修に参加するために、農業経験を積みながら、研修経費を貯めることができる制度。協会が指定する農家において実習を行うと、期間に応じて各種特典が受けられる。

### (2) 研修期間

3 か月から概ね 1 年までの任意の期間とする。

### (3) 専攻業種

研修生の意向と面談結果により、最適と考えられる業種の農家に配属する。なお、その際は以下のような業種が対象となる。

酪農、肉牛（繁殖、肥育）、養豚、養鶏、野菜（種苗、有機栽培を含む）、花卉（葉物、枝物、鉢花、花壇苗、観葉植物を含む）、造園、果樹

その他農業に関わる業種

### (4) 研修先の選定

研修農家の選定及び研修条件の交渉は、協会が行うものとするが、その他、研修生が自身の希望により特定の農家での研修を望み、該当農家の了承が得られている場合は、これを認めるものとする。但し、その農家での研修を保証するものではない。

### (5) アプレントゥィスシップの開始

協会は、研修生が希望する研修開始時期に合わせて研修の開始日を研修受入農家と調整する。なお、研修生は、研修開始希望時期の概ね 3 か月前までに申込書類を提出すること。

### (6) 農業実習中の指導

農家実習における研修生の待遇については、農家実習契約書に定める。

研修生は、毎月協会に対して所定の報告書を提出し、それに従って協会は適宜研修生に指導（電話、メールなど）を行う。

### (7) アプレントゥィスシップの終了

当初予定した研修期間が満了した時点でアプレントゥィスシップは終了となる。

研修生及び受入農家の双方が同意した場合に限り、実習の期間を短縮または延長することができる。

## 4. 申込金

研修生は、プログラムの開始に際し申込金として 40,000 円を協会に支払う。なお、返金はしない。

申込金納付先：公益社団法人 国際農業者交流協会

みずほ銀行蒲田支店 普通預金 3151510

納付期限：農業実習開始前まで

# 帰国後について

海外農業研修に参加された方は、さまざまな分野で活躍されています。異国での経験がその後の人生にどのように生かされるか、海外での新しい出会いがどのような発展を見せるかは人それぞれです。海外農業研修に参加されたことが人生のターニングポイントとなり、将来の自分への先行投資となっていることを実感されています。

また、本ガイドブックのP.29に掲載の通り、多くの団体・企業・教育機関が海外農業研修の趣旨に賛同しご協賛をいただいています。若い時に海外で研鑽を重ねた青年が大変貴重な存在であること、そのような経験を持つ海外農業研修経験者を登用したいという声が数多く届いています。

## 無料職業紹介所

本会では、農業関連分野を中心とした就職支援のため無料職業紹介所を設置しています。

海外農業研修を経験された方は以下のような分野で活躍されています。

研修生の帰国後の進路	
農業関連	農業(後継・新規就農)、農業法人、農業団体、農業教育機関、公務員、大学教授、教員、農協、企業(貿易関係、環境調査関係、生物化学、種苗、乳製品加工、農業福祉)など
農業外	国際協力機関、公務員(都道府県職員等)、大学教授、教員、福祉、保育、食品加工業、食品販売業、飲食店、営業、機械業、卸売業、出版、カメラマンなど
その他	青年海外協力隊、留学、海外研修、地域おこし協力隊、代議士など

## 近年の研修生が就職した企業・組織・農場

### 企業名(順不同)

JA全農(全国農業協同組合連合会)、JA全中(全国農業協同組合中央会)、バイエル クロップサイエンス株式会社、ヤンマーアグリジャパン株式会社、株式会社モンベル、全国酪農業協同組合連合会、ホクレン農業協同組合連合会、株式会社マイファーム、株式会社日本情報化農業研究所、株式会社Life Lab、日本政策金融公庫、タマノイ酢株式会社、株式会社ハクサン、株式会社伊藤園、イオンアグリ創造株式会社、株式会社白糠酪恵舎、三井物産アグロビジネス株式会社、渡辺パイプ株式会社、千葉大学環境健康フィールド科学センター、雪印種苗株式会社、株式会社サカタのタネ、独立行政法人農畜産業振興機構、特定非営利活動法人日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会、シンジェンタ・ジャパン株式会社、万田酵素株式会社、株式会社アシストシステム研究所、パイオニアエコサイエンス株式会社、ヒゲタ醤油株式会社、株式会社アグリメディア、株式会社善祥園、株式会社アースサイド 他

## 海外農業研修を終えた人材を求める企業

企業名	所在	業種
株式会社野菜くらぶ	群馬県利根郡昭和村	野菜
株式会社サラダボウル	山梨県中央市	野菜
株式会社ファームシップ	東京都中央区	野菜
曾我の屋農興株式会社	栃木県那須郡那須町	養豚
有限会社広野牧場	香川県木田郡三木町	酪農
株式会社近藤農園	香川県善通寺市	野菜
株式会社さかうえ	鹿児島県志布志市	野菜
株式会社ワタリ	東京都府中市	青果専門商社

※他にもたくさんの企業・農業法人から求人をお願いしています。

## 青年海外協力隊隊員への希望者を推薦します！

海外農業研修から帰国後、研修経験を生かし青年海外協力隊隊員となり再び海外の現場で活躍される方もいます。JICA 青年海外協力隊事務局との覚書により、研修業種と青年海外協力隊職種が一致している海外農業研修修了者を本会から青年海外協力隊へ推薦することができます。推薦に際しては、本会の審査がありますが、推薦された場合は、青年海外協力隊の一次選考技術審査が免除されます。なお、本会からの推薦は研修修了日から5年以内、又は研修修了後に関連分野での業務に従事した人に限られます。



## 帰国後に仲間と繋がろう！ ～国際農友会～

海外農業研修から帰国された方は、世界各地で活躍されています。そんな方々を繋ぐ役割を果たしているのが、研修生同窓全国組織の国際農友会です。

国際農友会は、海外農業研修で育まれた研修生同士の交流の横糸を、世代を超える縦糸に織り込んでいくことで、帰国された方同士の絆を深め、幅広い活動を展開していくことを目的に設立されました。国際農友会では、海外農業研修を目指す青年をバックアップするために、研修生サポート資金やアグトレマイレージ制度の運営、また海外農業研修の啓発活動を行っています。海外農業研修を経験された方はユニークで、バイタリティーにあふれています。農業を通じたふれあい、海外での苦楽を理解できる者同士、一生の大切な仲間となっています。

## 国際農友会の活動例

### ○国際化対応営農研究会

全国を5つのブロックに分けて行われる勉強会（セミナー）です。

年に一度、優良な経営や栽培技術などの事例発表、世代や業種を超えた農業者同士の交流を目的に開催されています。2020年度は、岩手県をはじめ全国5会場での開催を予定しています。詳しくは本会ホームページに紹介されます。

### ○研修生壮行会および帰国歓迎会

各都道府県にある研修生同窓会組織を中心に、出発前の研修生の壮行会や帰国した研修生の歓迎会を開催しています。海外農業研修に参加された先輩から出発前に研修成功のアドバイスや当時の経験談を聞けるだけでなく、帰国後同じ地域をけん引していく農業者としての繋がりを構築することができるまたとない機会です。



ここでの絆は一生もの



帰国後はOB・OG同士で広く繋がれる

# 公的資金を活用しよう

## 農業次世代人材投資事業（旧青年就農給付金事業） 監督官庁：農林水産省

次世代を担う農業者を目指す方に対し、就農の検討・準備段階から就農開始を経て経営を確立するまでの一連の流れを総合的に支援する事業です。準備型と経営開始型に分かれ、海外農業研修は準備型の対象となっています。

- 対象者： 海外農業研修修了後に就農する方 ※オーストラリアコースは対象外となります
- 交付額： アメリカコース参加の場合 225 万円まで  
ヨーロッパコース参加の場合、研修期間が 1 年の方に限り 150 万円まで
- 交付条件： 海外農業研修修了後 1 年以内に就農すること  
他にも条件がいくつかあり達成できない場合は返還となる  
ヨーロッパコースの場合は研修期間が 1 年の方に限られる
- 相談窓口： 就農を予定している都道府県、または全国農業会議所  
詳しくは農林水産省のホームページをご確認ください。

### ～申請から交付の流れ（本会を通じて行うアメリカコースの場合）～



## トビタテ!留学 JAPAN 監督官庁：文部科学省

官民協働のもと社会総掛かりで取り組む「留学促進キャンペーン」です。

- 対象者： 休学して海外農業研修へ参加される方
- 交付額： 審査認定された留学計画に従い交付額が決定
- 相談窓口： 在籍大学の学生課等  
詳しくは、トビタテ!留学 JAPAN のホームページをご確認ください。

本会が上記のような公的資金利用者に対し特別な便宜を図る場合、別途事務手数料を申し受けます。

## 海外農業研修にかかる費用の仕組み

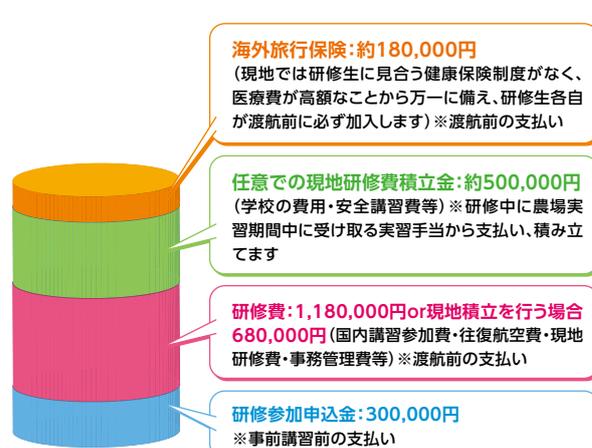
「とても充実した研修ということはわかる!けれどやっぱり金額がな…」といったご意見を聞くことがあります。ヨーロッパ・その他の国々は P.22 の実施要領に記載された金額の通りですが、アメリカとオーストラリアについて詳しく紹介します!

### アメリカ研修 トータル：約3,150,000円



渡航前の支払い金額: 約1,550,000円

### オーストラリア研修 トータル：約1,660,000円



渡航前の支払い金額: 約1,660,000円 or 積み立てをする場合1,160,000円

## 協賛紹介

## 石原果樹園

観光&  
贈答フルーツ農園

フルーツ王国岡山で海外研修前のアプレンティシップ、帰国後の就農支援で若者を受入。



## グリーンリーフ(株)・(株)野菜くらぶ



## 感動農業、人づくり・土づくり

当社は生産・加工・販売事業を行っています。土と人をつなぎ農業価値を創造します。

## サラダボウルグループ

農業の新しい  
カタチを創る

私たちと一緒に全国各地で、野菜生産を通じた「地域創り」をしませんか？



## トマト・メロンの横山農園



## 美味しい・嬉しい・大好き！

トマト・メロンを生産直売し、直営イタリアンレストランもやっています。



## 株式会社ワタリ

未来志向の青果物  
専門商社

産地と消費地を結ぶコーディネーターとして、一緒に農業の未来に貢献しませんか？



## 全国農業新聞・全国農業図書



## 情報が就農の成否を分ける

発行元 一般社団法人全国農業会議所

曾我の屋の豚



バイエル

## 株式会社ファームシップ

研修OBが  
多数活躍中!!

農と食の分野で挑戦し続けたい方、植物工場などで最先端技術を学びたい方募集中!!



## 有限会社広野牧場

農業の魅力で  
地域を元気に！

今、農業も変化の時。スタッフ、牛たちと共に農業の新しい価値と感動を創造します。



## 海外農業研修お問い合わせ先 (2020年1月現在)

実施団体

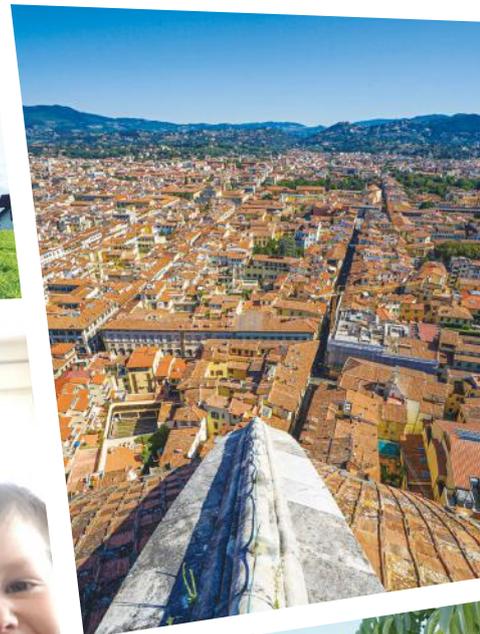


公益社団法人 国際農業者交流協会 The Japan Agricultural Exchange Council

ホームページ: <http://www.jaec.org/> 〒144-0051 東京都大田区西蒲田 5-27-14 日研アラインビル 8階TEL: 03-5703-0252 FAX: 03-5703-0255 E-MAIL: [agtre@jaec.org](mailto:agtre@jaec.org)

## 都道府県、推薦教育機関

No.	都道府県	担当課	郵便番号	住所	電話番号
1	北海道	公益財団法人北海道農業公社経営継承推進支援推進室	060-0005	札幌市中央区北五条西6-1-23 北海道通信ビル6F	011-271-2255
2	青森県	青森県農林水産部構造政策課	030-8570	青森市長島1-1-1	017-734-9463
3	岩手県	岩手県農林水産部農業普及技術課	020-8570	盛岡市内丸10-1	019-629-5656
4	宮城県	宮城県農林水産部農業振興課	980-8570	仙台市青葉区本町3-8-1	022-211-2836
5	秋田県	秋田県農林水産部農業研修センター	010-1231	秋田市雄和相川字源八沢34番1号	018-881-3611
6	山形県	山形県農林水産部農業経営・担い手支援課	990-8570	山形市松波2-8-1	023-630-3088
7	福島県	福島県農林水産部農業支援総室農業担い手課	960-8670	福島市杉妻町2-16(西庁舎5階)	024-521-7340
8	茨城県	茨城県農林水産部農業経営課担い手・参入支援室	310-8555	水戸市笠原町978-6	029-301-3846
9	栃木県	栃木県農政部経営技術課	320-8501	宇都宮市埴田1-1-20	028-623-2317
10	群馬県	群馬県農政部農業構造政策課	371-8570	前橋市大手町1-1-1	027-226-3064
11	埼玉県	埼玉県農林部農業支援課新規参入支援担当	330-9301	さいたま市浦和区高砂3-15-1	048-830-4051
12	千葉県	千葉県農林水産部担い手支援課	260-8667	千葉市中央区市場町1-1	043-223-2820
13	東京都	東京都産業労働局農林水産部農業振興課普及担当	163-8001	新宿区西新宿2-8-1	03-5320-4835
14	神奈川県	神奈川県農業技術センター企画経営部	259-1204	平塚市上吉沢1617	0463-58-0333
15	新潟県	新潟県農林水産部経営普及課	950-8570	新潟市中央区新光町4-1	025-280-5300
16	山梨県	山梨県農政部農業技術課	400-8501	甲府市丸の内1-6-1	055-223-1619
17	長野県	長野県農政部農村振興課担い手育成係	380-8570	長野市南長野字幡下692-2	026-235-7243
18	静岡県	静岡県経済産業部農業局農業戦略課農業戦略班	420-0853	静岡市葵区追手町9-6	054-221-3611
19	富山県	富山県農林水産部農業経営課	930-8501	富山市新総曲輪1-7	076-444-3266
20	石川県	石川県農林水産部農業政策課農業参入・経営戦略推進室	920-8580	金沢市鞍月1丁目1番地	076-225-1613
21	福井県	福井県農林水産部地域農業課農業人材確保グループ	910-8580	福井市大手3-17-1 8階	0776-20-0433
22	岐阜県	岐阜県農政部農業経営課	500-8570	岐阜市藪田南2-1-1	058-272-8429
23	愛知県	愛知県農林水産部農業経営課普及企画グループ	460-8501	名古屋市中区三の丸3-1-2	052-954-6412
24	三重県	三重県農林水産部担い手支援課	514-8570	津市広明町13	059-224-2354
25	滋賀県	滋賀県農政水産部農業経営課地域農業戦略室	520-8577	大津市京町4-1-1	077-528-3845
26	京都府	京都府農林水産部農産課	602-8570	京都市上京区下立売通新田西入藪ノ内町85-3	075-414-5989
27	大阪府	大阪府環境農林水産部農政室推進課	559-8555	大阪市住之江区南港北1-14-16 咲洲庁舎22階	06-6210-9589
28	兵庫県	兵庫県農政環境部農政企画局農業経営課	650-8567	神戸市中央区下山手通5-10-1	078-362-9194
29	奈良県	奈良県農林部農業水産振興課	630-8501	奈良市登大路町30	0742-27-7442
30	和歌山県	和歌山県農林水産部農業生産局経営支援課	640-8585	和歌山市小松原通1-1	073-441-2932
31	鳥取県	県庁農林水産部農業振興戦略監とつり農業戦略課研究・普及推進室	680-8570	鳥取市東町1-220	0857-26-7389
32	島根県	島根県農林水産部農業経営課担い手育成第二グループ	690-8501	松江市殿町1	0852-22-5395
33	岡山県	岡山県農林水産部農産課担い手育成班	700-8570	岡山市北区内山下2-4-6	086-226-7420
34	広島県	広島県農林水産部農業技術課経営技術グループ	730-8511	広島市中区基町10-52	082-513-3559
35	山口県	山口県庁農林水産部農業振興課農業技術班	753-8501	山口市滝町1-1	083-933-3366
36	徳島県	徳島県立農林水産総合技術支援センター経営推進課 担い手支援担当	770-8570	徳島市万代町1-1	088-621-2427
37	香川県	香川県農政水産部農業経営課担い手・集落営農グループ	760-8570	高松市番町4-1-10	087-832-3406
38	愛媛県	愛媛県農林水産部農政企画局農政課農地・担い手対策室	790-8570	松山市一番町4-4-2	089-912-2553
39	高知県	高知県農業振興部農地・担い手対策課	780-8570	高知市丸ノ内1-7-52	088-821-4512
40	福岡県	福岡県農林水産部経営技術支援課後継人材育成室	812-8577	福岡市博多区東公園7-7	092-643-3495
41	佐賀県	佐賀県農林水産部農産課	840-8570	佐賀市城内1-1-59	0952-25-7118
42	長崎県	長崎県農林部農業経営課 就農支援班	850-8570	長崎市江戸町2-13	095-895-2935
43	熊本県	熊本県農林水産部生産経営局農地・担い手支援課	862-8570	熊本市水前寺6-18-1	096-333-2432
44	大分県	大分県農林水産部新規就業・経営体支援課	870-8501	大分市大手町3-1-1	097-506-3598
45	宮崎県	宮崎県農政水産部農業経営支援課農業金融担当	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1	0985-26-7131
46	鹿児島県	鹿児島県農政部経営技術課	890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1	099-286-3160
47	沖縄県	沖縄県農林水産部営農支援課	900-8570	那覇市泉崎1-2-2	098-866-2280
48	推薦団体	北里大学 獣医学部 学生課	034-0021	青森県十和田市東23番町35-1	0176-23-4371
49	推薦団体	東京農業大学 国際協力センター	156-8502	東京都世田谷区桜丘1-1-1	03-5477-2560
50	推薦団体	東京農業大学 生物産業学部 学生教務課	099-2422	北海道網走市八坂196	0152-48-3813
51	推薦団体	東京農業大学 農学部 学生教務課	243-0034	神奈川県厚木市船子1737	046-270-6225
52	推薦団体	酪農学園大学 エクステンションセンター	069-8501	北海道江別市文京台緑町582番地	011-388-4132
53	推薦団体	拓殖大学北海道短期大学	074-8585	北海道深川市ムム4558	0164-23-4111
54	推薦団体	帯広畜産大学 入試・教務課 教務係	080-0835	北海道帯広市稲田町西2線11番地	0155-49-5411
55	推薦団体	日本農業経営大学校	108-0075	東京都港区港南2丁目10番13号 農林中央金庫品川研修センター5階	03-5781-3750
56	推薦団体	八ヶ岳中央農業実践大学校	391-0112	長野県諏訪郡原村17217-118	0266-74-2111



Let's give it a try!

